

# 第34回道央クラブバレーボール連盟 9人制選手権大会

平成28年11月23日(水祝) 札幌市清田区体育館

大会会長 吉川 貴盛  
 大会委員長 高橋 克徳  
 競技委員長 佐藤 充昭  
 審判委員長 大友 大輔  
 総務委員長 津田 良二

## 【男子の部】

A	BATTLE 1	21 - 14	A
	1位:2勝0敗	21 - 11	0
	SUNS 2	-	1
2	千歳市役所 3	18 - 21	A
	2位:1勝1敗	21 - 13	1
	21 - 13	2	
3	3位:0勝2敗		

## 優勝 BATTLE(札幌市) 7年連続7回目

3チーム総当たりによる今大会、優勝をしたのはBATTLEであった。BATTLEは大会を通して高さのある多彩な攻撃で他を圧倒した。またその攻撃を引き出す安定したレシーブも目に光った。2位となったSUNSはレフトの活躍とライトのブロック強打で応戦するも勝利までには一步届かなかった。3位の千歳市役所も8番飯塚のサービスエースや効果的なクイック攻撃等で対抗するもレシーブの安定さに多少欠いて想う様な試合運びが出来ずに終わってしまった。BATTLEは今回で7年連続7回目の優勝を飾った。

## 【女子の部】

### 《予選》

B	札幌市役所 1	21 - 11	B
	2位:2勝0敗(得点率 1.6)	21 - 8	0
	ビリーブ 2	-	1
	4位:0勝2敗(得点率 0.39)	21 - 14	B
	21 - 0	0	
2	BATTLE 3	21 - 13	B
	1位:2勝0敗(得点率 2.8)	21 - 3	0
	札幌中央クラブ 4	-	2
	5位:0勝2敗(得点率 0.37)	21 - 6	B
	21 - 9	0	
3	かれん 5	-	5
	3位:1勝1敗		

## 優勝 札幌市役所(札幌市) 2年連続6回目

### 《決勝》

予選1位	BATTLE	17 - 21	B
予選2位	札幌市役所	21 - 18	1
		21 - 10	6

女子の部決勝戦の1セット目、互いにレシーブが安定しシーソーゲームとなる。次第にBATTLEが相手の攻撃に対応し始めリズムを掴み一気に終盤抜けだしこのセットを先取る。2セット目は札幌市役所がサーブ・ブロック共に有効的な場面で功を奏し徐々にリードを広げる。対するBATTLEも粘りのプレーで応戦するが札幌市役所が逃げ切りこのセットを奪い返す。フルセットとなった試合の最終セット、2セット目の勢いそのままに札幌市役所が序盤からペースを握る。対するBATTLEも両エースの活躍で必死に粘るが札幌市役所の分厚い攻撃と固い守備を崩せずこのセットも札幌市役所が連取して2年連続6回目の優勝を飾る。

## 【4号球の部】

C	爽和クラブ 1	21 - 10	C
	21 - 14	0	
	レッド 2	21 - 19	A
	21 - 17	0	
2	札幌クラブ G 3	21 - 13	C
	21 - 19	0	
	北栄 4	21 - 14	A6
	18 - 21	1	
5	優勝 ZERO (札幌市) 2年ぶり3回目	21 - 12	C
	21 - 10	0	
	5 Z E R O	21 - 19	A
	22 - 20	0	
6	6 K O H N A N	21 - 15	C
	21 - 15	1	
	7 北翔D倶楽部	19 - 21	C
	21 - 14	1	
7	8 北野クラブ	21 - 11	C
	21 - 11	6	

4号球の部決勝戦の1セット目、序盤北栄のミスが目立ちZEROが徐々にリードを広げる。何とかリズムを取り戻したい北栄だが中盤以降も肝心なポイントでミスが出てしまい安定したハレーを展開したZEROがこのセットを先取る。2セット目は序盤から北栄のサーブが相手を崩し主導権を握って中盤を迎える。次第にZEROもブロックポイントやサービスエース等が出て一気に盛り返し接戦となる。しかし終盤サービスエースが出た北栄が抜け出しこのセットを取ってイブントとする。最終セット流石に互いに譲らず序盤より接戦となる。だがその無いハレーを展開するZEROが徐々にリズムを掴み優位に試合を進める。北栄も両エースにミスを集め必死に戦うが安定したレシーブをするZEROがそのまま逃げ切りこのセットを取って2年ぶり3回目の優勝を飾る。

## 【成績結果】

男子の部	優勝 BATTLE(札幌市)	準優勝 SUNS(札幌市)	3位 千歳市役所(千歳市)
女子の部	優勝 札幌市役所(札幌市)	準優勝 BATTLE(札幌市)	3位 かれん(恵庭市)
4号球の部	優勝 ZERO(札幌市)	準優勝 北栄(札幌市)	3位 爽和クラブ(江別市)、北翔D倶楽部(札幌市)